

令和2年 第3回全員協議会会議録

令和2年3月9日 議員控室

○事 件

町長報告事項

- (1) 一般会計財政試算：令和2年3月版について（財務課）
- (2) 八雲総合病院収支見通しについて（八雲総合病院）
- (3) 第2期八雲町総合計画実施計画について（政策推進課）

○出席議員（14名）

議長	能登谷 正 人 君	副議長	黒 島 竹 満 君
	関 口 正 博 君		佐 藤 智 子 君
	横 田 喜世志 君		大久保 建 一 君
	斎 藤 實 君		赤 井 睦 美 君
	三 澤 公 雄 君		田 中 裕 君
	牧 野 仁 君		安 藤 辰 行 君
	宮 本 雅 晴 君		千 葉 隆 君

○欠席議員（0名）

○出席説明員（14名）

町長	岩 村 克 詔 君	副町長	吉 田 邦 夫 君
副町長	萬 谷 俊 美 君	総務課長	三 澤 聡 君
財務課長	川 崎 芳 則 君	財務課長補佐	横 田 盛 二 君
財政係長	南 川 達 哉 君	総合病院事務長	成 田 耕 治 君
庶務課長	竹 内 伸 大 君	医事課長	石 黒 陽 子 君
医事課参事	佐々木 裕 一 君	地域医療連携課長	加 藤 孝 子 君
政策推進課長補佐	上 野 誠 君	企画係長	多 田 玲央奈 君

○出席事務局職員

事務局長	井 口 貴 光 君	事務局次長	成 田 真 介 君
庶務係長	松 田 力 君		

[開会 午前11時21分]

◎ 開会・議長挨拶

○議長（能登谷正人君） 本会議ご苦労様でした。これから第3回の全員協議会を始めさせていただきます。議長の挨拶は、時間上割愛させてもらって、早速町長報告事項に入らせてもらいます。

◎ 町長報告事項

○議長（能登谷正人君） 一つ目は、財務課のほうからお願いいたします。

○財務課長（川崎芳則君） 議長。財務課長。

○議長（能登谷正人君） 財務課長。

○財務課長（川崎芳則君） それでは財務課から一点説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。一般会計財政試算令和2年3月版について担当補佐のほうからご説明させていただきます。

○財務課長補佐（横田盛二君） 議長。財務課長補佐。

○議長（能登谷正人君） 課長補佐。

○財務課長補佐（横田盛二君） 一般会計の財政試算についてご説明いたします。まず初めに1ページ目の一般会計財政試算の考え方をご覧います。

1 財政試算の総括的な特徴といたしまして、(1) 令和2年度歳入の約31%を占める普通交付税ですが、今後の地方財政計画を踏まえるとともに臨時財政対策債の影響や合併算定替終了による段階的な縮減、また国政調査による人口減少の影響などにより減少基調で試算せざるを得ない状況でございます。(2) 各年度の捉え方ですが、令和元年度は決算見込み、令和2年度は当初予算決算見込み、令和元年度からの繰越明許費、補正予算予定事業分、令和3年度以降は継続事業や第2期総合計画の実施計画における想定事業から試算してございます。(3) ふるさと応援寄附金奨励事業ですが、令和2年度の予算については今回の定例会においてご審議していただくこととなっておりますが、事業費は6億7,167万5千円でふるさと応援寄附金積立金12億円と合わせて、18億7,167万5千円でございます。ふるさと応援寄附金を有効かつ効率的に配分し事業を進めるためにも令和3年度以降においてもふるさと応援寄附金奨励事業経費を含めたかたちで試算したものでございます。(4) です。総合病院繰出金ですけれども、当初予算計上は特別繰出金3億円のほかに、資金不足解消対策として令和元年度、令和2年度は3億5千万円、令和3年度から6年度におきましては、2億5千万円として総合病院収支見通しと整合性をとった試算となっております。

次に歳入でございます。丸付き数字は資料2ページの財政試算の表の左側の数字と連動しておりますので、2ページのA3の表と一緒にご覧いただきたいと思っております。①町税については令和元年度決算見込みは19億3,700万円と見込んだところでございます。令和2年度につきましては町内の漁業を中心とした経済状況や、過去の実績及び地域経済の動向を勘案し、16億7,200万円と見込んだところであります。令和3年度以降住民税は令和2年度予

算計上以上の減額はないものとし増額見込みでございます。また固定資産税の評価替えを令和3年度、令和6年度に実施することからこれらを加味し減少記帳で試算してございます。②の地方交付税につきましては、令和元年度算定額に減少基調2%減を基本に試算してございます。まず普通交付税であります。令和2年度以降につきましては令和元年度算定結果を基に公債費、個別算定経費を算定しており、合併算定特例替加算の段階的縮減、熊石地域の小中学校統合に伴う段階的な減額を考慮し試算をしております。特に合併算定替えについては最大で約6億の効果額がございましたが交付税制度の改正により令和元年度算定においては約1,900万円まで圧縮され、この効果額が段階的に減額されるものであり、令和2年度をもって終了することになります。令和2年度国勢調査人口につきましては、令和3年度の普通交付税算定により反映することとなり、大きな減額が想定され、激減緩和の措置はあるものの、約1億3千万円程度の減額を見込んでございます。令和3年度の増額の要因は、3年度以降の増額の要因はホタテ養殖漁業における影響見込みを個別経費個人所得割、及び元利償還金の開始による増額試算を見込んだこととございます。次に特別交付税でございます。特別交付税については交付基礎相当額のみを試算しておりまして、令和3年度以降は前年度対比2%減の試算でございます。次に③繰入金でございます。令和元年度は決算時に繰入れ目的ごとに決算額に応じて調整決定いたしますが、本試算においては、26億400万円としており、うち財政調整基金からは、2億3,500万円の繰入を見込んでございます。また令和2年度については22億9,600万円のうち財政調整基金は2億5,500万円を繰入れるかたちでの試算となっております。令和3年度以降はふるさと応援基金繰入金を12億円として●●であります。次に④、⑤の町債については、普通建設事業に対応した他、普通交付税の振替財源である臨時財政対策債を令和3年度以降は、地方財政計画の伸び率3.6%減での試算をしたところとございます。以上のことから⑥の各年度歳入の合計につきましては今日記載のとおり試算したところとございます。

次に3歳出でございます。⑧の普通建設事業は、第2期総合計画実施計画継続事業等により試算しているところとあります。令和2年度当初予算計上には計上してございませんがこの試算に補正対応で加えた大型事業として、落部小学校大規模改修事業 約1億400万円、東部生活館改修事業 約2,910万円、耐震貯水槽整備事業 約2,159万円を令和2年度に見込んだところとございます。令和3年度以降につきましては、総合計画の実施計画継続事業等に基づき試算したところとございます。次に⑨の公債費についてです。町債の発行額にあわせて、令和2年度以降の借入れ予定分を含めて償還額を算定しております。また借入れにあたっては有利な起債である過疎債、辺地債の選択を第一に考えて追及していくものでございます。⑩の繰出金について令和3年度以降は1ページ下段の考え方で試算していることとございます。また企業会計の繰出金ですけども、財政試算表の性質別では歳出では補助費等とその他に区分されます。特に総合病院については⑩に抜粋しております。次に⑫の収支欄ですけども、繰入金でもご説明いたしました。令和元年度は決算時改めて精査し決定いたしますが、現段階での試算としては財政調整基金から2億3,500万円の繰入をおこなったうえで歳入歳出差引5億3,200万円とございます。令和2年度は決算見込みとして財政調整基金から2億5,500万円の繰入でありますけども、総合病院資金不足解消対策として、繰出し金3億5千万円のマイナス試算であります。また令和3年度以降においても歳

入歳出差し引きマイナスの試算であることから各年度から繰入れにより対応しなければ財政運営が行えないという状況にあるものでございます。これにともないまして⑩取崩型基金残高は令和元年度末、82億6,600万円と見込み、令和6年度末では18億4,300万円の基金残高であり、令和6年度以降の基金残高が減少し、財政運営が困難になる恐れがあることがこの試算では見込まれている状況であります。

最後に下段の経常収支比率、実質公債費率の推計であります。基本的にこれらの数字は普通交付税と地方債の借入額及び償還額の増減によって大きく左右される指針であります。経常収支比率は歳入経常一般財源の減に対して経常的な支出が増加傾向であることから硬直した財政運営を強いられる状況で、今後は90%を超える試算であります。この数字の改善のためには、経常的な自主財源の確保として町税等の収入をいかに守っていくのか、経常的経費の圧縮抑制などが非常に重要であると考えております。また実質公債費率については過疎債や辺地債という交付税措置がある有利の起債を選択することで実質的にこの数字は大きく上昇しないだろうということで試算してございます。一般会計の財政試算は国の動向により大きく左右されることから想定されている内容を考慮し歳入は堅く試算しており、これ以上の悪化はないと考えていますが、国の動向によって大きく変更になることをご理解願いたいと思います。以上で一般会計の財政試算についての説明とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

○議長（能登谷正人君） 一般会計の財政試算について説明が終わりましたけども、ゆっくり見て何かご質問がありましたら。

○14番（千葉 隆君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 千葉君。

○14番（千葉 隆君） 一般質問やらないパターンであれなんですけれども、本来なら関口さんが総合病院の関係、やっぱりそこに尽きるんじゃないのかなと思うんですけれども、総合病院の繰出しの部分でやっぱり基金が目減りするという構図なんだけども、確かに今プリオさん人件費の部分で抑制するというような答弁にはなってるんだけれども、あの答弁見ればこういうふうな繰出しの状況にならないと思うんですけれども、その辺どういうふうな今年度以降の改革の部分を入れて想定、いくらに改革できるか分からないから現状の中、試算してるのかその辺どういうふうな分析しながら繰出しの関係出してるのかちょっと。次病院だけどき、こっち側のほうではどういうふうな。今の現状で。

○財務課長補佐（横田盛二君） 議長。財務課長補佐。

○議長（能登谷正人君） 課長補佐。

○財務課長補佐（横田盛二君） 現状ではですね、総合病院の収支見通し計画に合わせた計上でございます。

○財務課長（川崎芳則君） 議長。財務課長。

○議長（能登谷正人君） 財務課長。

○財務課長（川崎芳則君） 端的にいうと、補佐のほうからも説明があったとおりなんですけれども、2年度の当初予算では従来ベースの繰出基準プラス特別繰出の2億を含めた部分での予算です。この収支計画についてはその部分プラス今後こういう経営状況になるだろうということでプラスアルファで先ほど説明したとおりですね、2億5千万円とか3億な

んですけれども、その経営状況によってはですね、令和2年度の経営状況によって前後するものですからこの予算のほうに含めておりませんが、計画のほうでは含めたかたちで見直しを出していると。その数字についてはこの後総合病院のほうで説明がありますけれども、繰出と繰入の額は合わせてるということでご理解いただきたいと思います。

○議長（能登谷正人君） 分かりました。ほかにありませんね。それでは、一般会計の試算については以上で終わります。ご苦労様でした。それでは二つ目の、八雲総合病院の収支見直しについて総合病院のほうから説明願います。

○総合病院庶務課長（竹内伸大君） 議長。総合病院庶務課長。

○議長（能登谷正人君） 庶務課長。

○総合病院庶務課長（竹内伸大君） それでは、総合病院収支見直しの考え方等について説明をいたします。まずは令和元年度決算見込みについて説明をいたします。

資料1 ページ目となっております。なお本見込みの試算にあたりましては、本日議決をいただきました補正予算の特別繰入 3 億 5 千万円をあらかじめ計上しておりますことを申し添えます。まず収益の部に関して特徴的な事項といたしましては令和元年度の診療収益は外来収益の大幅な伸長が見られるものの入院収益においては特に内科常勤医師の確保が図られなかったことが主な要因として、当初予算で見込んでおりました業務量に及ばない状況でございます。費用の部に関しましては、予算の範囲内ではあるものの、診療応援に係る出張医師賃金や医師派遣手数料、医療機器補修委託料の増が見られてるところであります。Aの欄収益総計からBの欄の費用総計を差し引いたCの欄、差し引き収支は3億9,971万5千円の純損失が見込まれております。表下段下から2行目、Gの欄内部留保資金は、補正予算3億5千万円の充当によりまして4,284万7千円が見込まれ資金不足が解消される見直しとなっております。

続きまして総合病院収支見直しであります。資料2 ページをお開き願います。本資料では収支見直しの町村にあたっての考え方をお示ししてございます。要請といたしましてはやはり、内科常勤医師の確保、また新入院料の算定による増収を柱としております。費用に関しましては、企業債償還金のピークは令和5年度でありピーク時の額は5億6,700万円あります。資料3をお開き願います。令和6年度までの収支見直しとなります。各年度において資金不足額が生じないよう、収支不足額につきましては繰入金を増加させ試算しております。繰入金につきましては後ほどご説明申し上げます。特徴的な事項に絞って説明をいたします。表の左に丸付き数字がございます。⑬経常損益であります。令和2年度以降の経常損失は、各年度で7億円から8億円台の損失で経過する見直しとなっております。資金不足を解消するため一般会計繰入金により補てんする見直しを本資料では立てておりますが、⑭純損失は令和2年度以降4億円から5億円弱で推移する見直しであります。続いて資本的収支、収入のうち3の欄、他会計補助金であります。令和元年度以降、他会計補助金を計上しております。その理由といたしましては、これまで資本的収支不足額を内部留保資金により補てんすることで収支均衡を図ってまいりましたが平成30年度において内部留保資金が枯渇したことにより収支不足額を一般会計繰入金により補てんするものであります。⑯一般会計繰入金の見直しであります。令和元年度以降12億円から13億円台を毎年度計上する見直しとなっております。繰入金の性質のうち⑰基準内相当分は、地方交付

税により措置される分として実質的に財源の一定の裏付けがあるというふうに言えますが、
②基準外相当分につきましては、町の持ち出しである財源であり、今後 6 億円から 7 億円が見込まれます。本収支見通しの総括であります。収益的収支においては収支構造の改善が難しいことにより本業である医療の提供によって現金支出を伴わない減価償却費はあもとより、今後増高する企業債償還金相当分や、経営継続上で重視される内部留保資金を稼ぎ出すことができない構造となっております。経営アドバイザーの導入によりまして若干ではございますが、明るい兆しも見えてきておりますが、大変厳しい見通しであることに変わりはありません。総合病院では大変厳しい決算見込みを受け、全職員の説明会を複数開催し職員の更なる意識の向上に努めております。来年度における経営アドバイザーを通して少しでも経営状況が改善するよう努力してまいります。

以上大変雑ぱくではございますが、総合病院の収支見通しの説明といたします。よろしくお願ひいたします。

○議長（能登谷正人君） 収支見通しについて説明がありました。何かご質問ありましたら。

○2番（関口正博君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 関口君。

○2番（関口正博君） 数字だけ見ると当然相当厳しいということは町長、病院側も行政側も強く感じてらるんではないかと思ひます。当然僕も一般質問でやるつもりだったんですけども、この場でということではほんの少しだけお話ししたいんですけども、これ開設者として町長はどのような思いで総合病院の立て直しを、もちろんですね武蔵野プリオさんのいろいろな意見というのも今年また出てくるんでしょうが、今年はまだ人件費の部分をちょしてくるということで、これ人件費をちょすということは病院そのもののかたちが変わる可能性も出てくるということで、相当大変なものになってくるんじゃないのかなと思ひますけれども、行政側がどのような目標を掲げて対応していくかということが非常に重要なことになってくると思ひますが、ここ2、3年で。それで医師不足というのはこれもどこの自治体だって八雲だから特別、医師不足が直るといふのは絶対ないですけどね、これから医師の働き方改革の法案も出てくるようすし、そうなるとうまます全国的医師不足といふのは大変なものになってくる。医師不足がこの収支の非常に重要な役割を果たすとするならば、そこを医師が来るということをお前提で収支を見るといふのは非常に難しいんじゃないのかなという気はしてあります。行政としてどのような思いで総合病院を支えていくつもりなのか、これは開設者である町長の意見を聞きたい。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 関口議員ですね、本当にその総合病院のですね、改築し、前前院長とも議論をしながら、今まで来たということであります。一向にですねやはり病院を●●するとですね、お医者さんが来るんでないかと。また患者さんも増えるというそんな話もありながら進んできましたけれども、ここにきてですね、なかなかお医者さんも増えない。さらに患者さんも絶対数が減ってきているという中で今コンサルをですね、1年目に入れました。令和2年度も予算が通れば2年度も入れるということで、2年度にですね、このコンサルの人とですね、病院の中を1年見ていただきましたので、これからどんな状態でこれから

進んでいくのかということですね、やはりこの2年度ですっかりと見ながら行かなければならないだろうと思っています。さらに先ほど中期的なですね、町の財政が出ましたけれども、私としたらですね、このふるさと納税も4、5年は続くだろう、5年程度だろうというのを見たときにですね、この5年間の中でこの医師並びに病院の方向性をですね、しっかりとですね、見据えながらですね、病院を運営していかなければならないだろうという思いであります。これはですね、議員と一緒にになりながらですね、取り組むべき問題と、大きな問題とっております。ただ今すぐにですね、この病院をどうしようとか、こうしようとかということではなくてですね、やはりこの病院をまず維持していくんだということを踏まえながらですね、どんなかたちがあるのかということ、さらに今年は見据えていきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

○2番（関口正博君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 関口君。

○2番（関口正博君） 町長が維持ということを第一ということですので、そこはまず安心して我々も協力できることは私自身も協力できることはしていきたいと思っております。ただ地域医療というものを考えたときに、今計画構想されている熊石国保病院、この問題というものも八雲のことだけではなくて医療圏の問題の中においては非常に重要なポイントになってくるんじゃないのかなと思うんですけれども、それは町長どのようにお考えですか。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） この熊石ですね、地域医療、この熊石地域はですねやはり落部地域というのはですね、どちらかというときがなくて。熊石は峠があるということになると、やはりこの国保病院はですね、地域になくってはならない病院と位置付けて考えています。これについては私も元々民間の経営者でありますので、私は熊石の国保病院についてはですね、わりかし売り上げ的にもお医者さんの数も、2人並びにですね、中身についても見やすいという、そういうことを考えると、私はこの熊石地域はですね、必要なものということで認識をしていますので、これは大きさ並びにですね、どんなかたちかというのはこれから議論していきますけれども、熊石地域には国保病院が必要だと、地域になくってはならない病院だということを認識していますので、ご理解をよろしく願いいたします。

○議長（能登谷正人君） いいですか。

○2番（関口正博君） はい。

○議長（能登谷正人君） ほかにありませんか。

○14番（千葉 隆君） はい

○議長（能登谷正人君） 千葉君。

○14番（千葉 隆君） 私も関口議員さんのやっぱり視点ってすごく必要だと思うし、確かに町長が言うように、一番心配なのはふるさと応援寄附金がなくなったときに、一番打撃が来るといえるか、それは総合病院だと。今までの国から出る事業も今度直接町の税金でいかなければならないから、その分も含めればほとんど総合病院をこのような形態での繰入はできない状況になってしまうというのが当然誰でも予測できるので、そういうふうな考えてしまうと5年間の間に一定程度、しっかりとしたものを作っていくとそのときにな

ってどうするというふうにはならないと思うんだよね。当然、企業とか会社っていうのは町長さんのほうが経営者で、言われなくても分かると思うんだけど、やっぱり財政が豊かなときに改革していかないと、財政がゆるくないときにしっかりとした改革ができないのでね、今のこの5年間のうちに一定程度財政が豊かなときにやっていかないと、急にできないっていう状況あると思うんですよね。

それでやっぱり一番は熊石もそうだし八雲もそうだし、●●もそうなんだけど、やっぱり人口の減少をしっかりと5年刻みで見えていって、患者さんはこのくらい確保できないよという部分を10年後何人、15年後何人、そうしたらどの程度の規模の病院が必要なのか、そしてそこにはなんの囲い込みの施設が必要なのかってことをやっていかないと駄目なので、プリオさんのやつ、かなり僕も上尾病院のやつ見たんだけど、あそこは福祉関係も全部、訪問看護も訪問診療も含めて地域的に支援しているときには医療分野だけじゃなくて福祉分野も囲い込みして自分のところの病院に誘導するっていう、あの方式がやっぱりあるのでね、少しもう一回総合病院としての、八雲も既に老人福祉施設があるのでね、ある程度逃げない部分はあるけれども絶対量少なくなるからその辺の計画をやっぱりしっかり立ててもらわないと、今の状況の中では、まさに入院患者さんが入院も外来も医業収益が増える約束の中で作ってるから、これは大変厳しいなっていう、なかなか右肩上がりの医業収入収益を確保する部分は難しいと思うんだよね。

だからそこをやっぱりある程度冷静に分析してその数を確保できないとしたら、どのような病院のかたちを作っていかなきゃならないかっていうのをね、もう少しきめ細やかにやらないと大変だなっていうふうな気がしてならないんですよね。やっぱりそこはなかなか今までやってきてるんだけど、実際手を付けられないで来てる場所だし、病棟で急性期だとか医療制度が変わるといふのを前提にして、分かてるんだけどね、実際の人口減少に対応するっていう部分を横においてはいけない状況をさ、この計画だったら、なかなか医業収益の確保できないと思うよ。だからプリオさん、人件費もあるけれども、総体の人口減っているものに対比していかないとと思うんだけど、どうなんですかね。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 本当に千葉議員おっしゃってるとおりだと思います、その医療というのは福祉から連動しますし、今のその医療、このコンサルもですね、先ほど言いましたけれども、今回1年間ですね、見ていただいたということでおおよそですね、八雲総合病院並びにですね国保病院のほうも●●でありますので、今年令和2年度ですね、千葉委員さんおっしゃってるとおりですね、計画を作ってきたところまで行かなければ本当に考えなきゃならないとというのはですね、2、3年後に来るんでないかと思っています。それを見ながらですね、やはり熊石の国保病院、この熊石地域はですね、私は1番は、熊石に働く場所を作ってここに定住する人が、少しでも上がるような、そういうことをしていくということ前提にしながらですね、私は熊石の国保病院があるんだろうと思っています、さらに総合病院と熊石の国保病院は連動しながら行くんですっていうこともありますので、本当にこの1、2年が勝負だと思っていますので、議員の皆さんと情報を共有をしながらいろんな知恵を借りて進めたいと思っていますので、ご理解をいただきたいと思っています。

○14 番（千葉 隆君） はい

○議長（能登谷正人君） 千葉君。

○14 番（千葉 隆君） プリオさん今年、やるのは分かるんだけど、もう1歩さ、次年度以降、令和3年度以降ある程度の病院の改革の実行計画に実質、計画作ってやる場所に、入ってもらえるのか、それとも病院の院長も含めてなんだけども、一緒に入ることを経営陣の部分で了解もらえるんだろうか。今の単年度ごとに入ってくるということは医師のほうも院長もきつと認めてもらえるんだろうけれども、次年度以降の計画作ったりするところにもプリオさん入ってもらってやる必要あるんじゃないのかなと思うんだよね。だからそのことについてはまだ話し合っているのか、あるいはそういうところも含めてなかなか、なぜそういうことするかっていったら、我々もそうだし理事者もそうだけど、なかなか直接事務方のほうからも言えない部分もあるから、そういう部分にやっぱりプリオさんを活用してきてる部分があるのでね、もうちょっと次年度以降踏み込んで、プリオさんに立て直すとか、次年度以降の短期か中期か分からないけど、その計画の中にも入ってもらうようなイメージで今いるのか、その辺●●のか。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 本当に千葉議員さんおっしゃってるとおりでございます。正しくですね、今月の19日ですね、今年1年の総括をコンサルの方とやります。その中で今おっしゃってるとおり、計画を作るところからと考えています。ただ、予算的にあまり持っていませんので、その辺については、費用の面等々まだ相談していません。ただおっしゃってるとおりですね、しっかり計画を立てていこうと。さらに今の院長先生大変柔軟に対応していただけるのでですね、院長先生にも、入っていただくのも可能だろうと思いますので、それについても、しっかりと今年1年の総括を聞きながら来年度に向けていきたいと思っていますので、ご理解をいただきたいと思っています。

○総合病院事務長（成田耕治君） 議長。事務長。

○議長（能登谷正人君） 事務長。

○総合病院事務長（成田耕治君） 今回のコンサルの関係につきましては、年度当初ですね、2年間の予定で病院の立て直しを全部含めてですね、進めるということを説明しています。今年度1番大きな改革としては、令和2年の4月から当初予定であります地域包括ケア病棟の導入、1か月早まって3月からスタートしてますけれども、ここに先生方のいろいろなしがらみだとかがありまして、大変厳しい、これを導入するにあたっては昨年10月からスタートしましたけれども相当厳しい中でスタートしています。それでその中で経営管理会議がありますけれども、その中に今回のコンサルの小林代表に入ってもらって、こういう趣旨でこういう進め方をするというようなことも含めて経営陣には受け入れしていただいています。年度当初も含めてですね、これは町長の考え方もあって2年間このコンサルの考え方に従うんだと。進めていくんだということは経営陣も了承しておりますので、その点についてはですね、ご理解願いたいと思います。当然2年度以降につきましては今、千葉議員から言われたように中長期的な考え方も含めてですね、大分踏み込んだかたちでの経営改善サポートというかたちで進めていきたいと今考えているところでございます。

○議長（能登谷正人君）了解ですよ。

○14番（千葉 隆君） はい。

○議長（能登谷正人君） ほかにありませんね。それでは以上を持ちまして、病院の収支見通しを終わらせてもらいます。ご苦労様でした。それでは三つ目の、第2期の八雲町総合計画の実施計画について説明願いますけれども、時間が時間ですので、簡単に説明を。ポイントポイントに絞って説明してもらえれば大変ありがたいです。

○政策推進課長補佐（上野 誠君） 議長。政策推進課長補佐。

○議長（能登谷正人君） 課長補佐

○政策推進課長補佐（上野 誠君） それでは第2期八雲町総合計画実施計画についてご報告させていただきます。まずはじめにですね、今回の報告にあたりまして実施計画の取りまとめ作業が遅れましてですね、議員皆様に資料を事前配付できませんでしたこととお詫び申し上げます。

それでは第2期八雲町総合計画は、平成30年度から令和9年度までの10年間を計画期間としておりますが、実施計画につきましては、基本計画に基づいた具体的な事務事業を明示する3年間の計画としておりまして、毎年度ローリング方式により事務事業、進捗状況の評価検証を行いながら進行管理を行っていくこととしております。今回令和2年度から令和4年度までの実施計画を策定いたしましたので、その概略につきましては企画係長からご説明させていただきますので、よろしく願いいたします。

○企画係長（多田玲央奈君） 議長。企画係長。

○議長（能登谷正人君） 企画係長。

○企画係長（多田玲央奈君） それでは、まずA3のほうの資料2のほうからご覧いただきたいと思っております。

1ページ目から5ページにつきましては、前期5か年の事業費の合計と年度ごとの事業費を掲載した総括表となっております。5ページをお開き願います。上段の表の全期全体計画案に●●の合計額が、平成30年度から令和4年度までの5か年の合計で270億3,744万5千円となっております。同じく5ページ中段の左側に計画額の年度別の推移を示す折れ線グラフを掲載しております。計画額の推移の特徴といたしましては、平成30年度は56億9,500万となっております、ふるさと応援寄附金奨励事業などが主な事業となっております。令和元年度は61億1,720万となっております、ふるさと応援寄附金奨励事業、学校給食センター改築事業、汚水処理施設共同整備事業などが主な事業となっております。令和2年度は78億9,700万となっております、研修牧場施設整備事業が主な伸びの要因となっております。令和3年度以降は事業費が減少しておりますが、役場新庁舎整備事業の事業費が現段階では算定できなかったため、令和2年度までしか入れていないこと。それと町営住宅建て替え事業が、長寿命化計画の策定中であるため、こちらも令和2年度までしか事業費を見ていないことなどによる減少となっております。5ページの右側には、基本目標額の推移を示す折れ線グラフを掲載しております。第1章は、都市基盤整備の分野であり令和元年度が多くなっておりますが、これは汚水処理施設共同整備事業や町営住宅建替事業によるものであります。

第2章は産業振興の分野であり、令和2年度が突出しておりますが先ほど申し上げましたとおり研修牧場によるものであります。第3章は医療福祉の分野で病院の医療機器整備や保育園整備などが含まれていますが大きな増減はございません。第4章は教育分野で令和元年度令和2年度が多くなっておりますが、学校給食センター改築事業、落部小学校大規模改修事業によるものでございます。第5章は協働と行財政運営の分野となっております。平成30年度が突出しておりますが、これはふるさと応援寄附金によるもので、令和元年度以降は法改正により募集経費が寄附金額の5割以内とされておりますので、減少傾向にございます。

6ページから10ページにつきましては、令和2年度から4年度までの3か年の総括表となっております。各年度の事業費と計画初年度からの実績という欄に平成30年度の実績と令和元年度の実績見込みの合計を記載しております。またその横に進捗率も掲載してございます。続きまして11ページと12ページになりますが、昨年度策定した実施計画には登載していなかった新たな事業を掲載してございます。大きな事業としましては12ページ中段に記載のギガスクールネットワーク整備事業、12ページ下から3行目の地域会館建替事業などとなっております。13ページ14ページには実施期間を変更したもの、計画から削除した者などを掲載してございます。15ページ以降につきましては各事業の総体について掲載をしてございますので、後ほどお読み取りいただきたいと思っております。

続きましてA4版の資料1をご覧くださいと思います。1番から3番までについては先ほどの説明と重複しますので割愛させていただきます。資料下段の4番、昨年度との比較についてご説明を申し上げます。下段の折れ線グラフをご覧ください。このグラフは昨年度策定いたしました実施計画と今回策定しました実施計画との比較となっております。昨年度の実施計画を厳選、今回策定した実施計画を実践で表示をしております。全体としては33億2,400万円の増となっております。その要因としましては令和2年度の研修牧場整備事業となっております。令和2年度以外の年度につきましては、昨年度の計画との大きな変化はない状況となっております。資料1の裏面につきましては、令和2年度の主要な事業を抽出した試算表を掲載してございますので、お読み取りいただきたいと思っております。以上大変簡単ではございますが、総合計画実施計画の概要説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○議長（能登谷正人君） ありがとうございます。実施計画をもらったんですけども、よく皆さん見て、年度別を書いてありますので、今後の議会活動に利用していただきたいと思っております。ご意見ありませんね。それでは以上を持ちまして、総合計画の実施計画については終わらせてもらいます。ご苦労様でした。

◎ 閉 会

○議長（能登谷正人君） それでは休憩をいたしましてよろしいでしょうか。お昼にしたいと思っております。再開は1時にいたします。これで全協は終わらせてもらいます。

[閉会 午後 0時11分]